

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

○沖縄地方では、無降水日(日降水量が1.0mm未満の日)の年間日数は、20世紀末に比べて、21世紀末には4℃上昇シナリオで約12日増加すると予測されます。これは、大雨、短時間強雨の増加傾向と併せて、地球温暖化の進行に伴って雨の降り方が極端になることを意味しています。

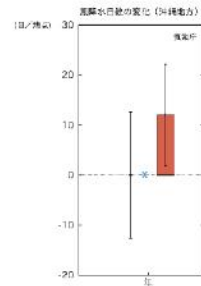


図3-1-19 沖縄地方における年間無降水日数の将来変化

3) 海面水温の変化

○21世紀末の沖縄近海の海面水温は、20世紀末と比べて、4℃上昇シナリオでは約3℃、2℃上昇シナリオでは約1℃上昇すると予測されています。

沖縄周辺海域の海面水温の将来変化[℃]

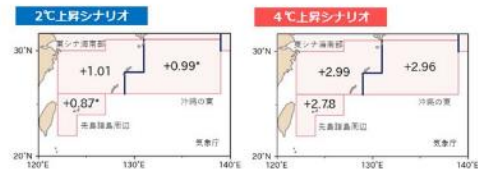


図3-1-20 沖縄周辺海域の海面水温の将来変化

4) 海面水位の変化

○日本沿岸の平均海面水位の上昇の度合いは、20世紀末(ここでは1986～2005年平均)に比べて、21世紀末(ここでは2081～2100年平均)には、4℃上昇シナリオ(SSP5-8.5)では0.68m(0.56～0.88m)、2℃上昇シナリオ(SSP1-2.6)では0.40m(0.30～0.55m)と予測されます。()内は可能性の幅を示しています。

○日本沿岸の海面水位上昇の予測には地域間で顕著な違いは見られません。

新 旧 対 照 表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

4. 適応策の推進方針

現在、真夏日や熱帯夜の増加、短時間降雨量の増加、海水温・海水面の上昇、海洋酸性化など気候変動の影響と思われる様々な観測結果が得られており、将来想定される大雨・短時間強雨と無降水の増加による雨の降り方の極端化などの気象現象に対して、適切な備えと行動が求められています。

また、気候変動の影響については、各地域における自然的・社会的・経済的状況に応じてその内容や規模も異なることから、国の適応計画で示された基本的な考え方を踏まえた上で、本県における地域特性や気候情報等を的確に把握・整理し、着実に適応策を進めていくことが重要です。

目指すべき将来像である「気候変動に適応できる社会」の実現に向けて、以下の方針に基づき取り組めます。

沖縄県 気候変動適応推進方針

1. 各種施策における気候変動適応の組み込み

県が実施する防災、農林水産業の振興、生物多様性の保全、その他に関連する全ての施策に気候変動適応の観点を組み込みます。また、事業者が作成する経営計画等にも気候変動に配慮するよう促していきます。

2. 本県の実情に応じた適応策の推進

日本で唯一の亜熱帯海洋性気候に育まれた独自の生態系や、160 の島々からなる島しょ県、台風常襲地域といった本県の持つ地域特性に鑑み、気候変動影響の現状及び将来予測について適切に収集・整理し、本県の実情に応じた適応策を推進します。

3. 気候変動情報の行政・県民・事業者との共有

将来起こりうる想定外の自然災害や気象現象に対して、生活を守る適切な行動が取れるよう、セミナーやイベントなどあらゆる機会を活用して気候変動情報を行政・県民・事業者間で広く共有します。

4. 科学的知見の集約、提供

気候変動及び適応策に関する様々な科学的知見を収集・発信し、情報の収集整理、分析及び提供並びに技術的助言を行う拠点として「沖縄県気候変動適応センター」を設置しました。収集した情報・分析結果等について国立環境研究所や気象台等の関係機関と連携し、最新情報の収集及び発信体制の構築を図ります。

気候変動に適応できる社会

図 3-1-21 沖縄県の気候変動適応推進方針

4. 適応策の推進方針

現在、真夏日や熱帯夜の増加、植物の開花時期の変化、海水温・海水面の上昇など気候変動の影響と思われる様々な観測結果が得られており、将来想定される強大な台風や観測記録を超える気象現象に対して、適切な備えと行動が求められています。

また、気候変動の影響については、各地域における自然的・社会的・経済的状況に応じてその内容や規模も異なることから、国の適応計画で示された基本的な考え方を踏まえた上で、本県における地域特性や気候情報等を的確に把握・整理し、着実に適応策を進めていくことが重要です。

目指すべき将来像である「気候変動に適応できる社会」の実現に向けて、以下の方針に基づき取り組めます。

沖縄県 気候変動適応推進方針

1. 各種施策における気候変動適応の組み込み

県が実施する防災、農林水産業の振興、生物多様性の保全、その他に関連する全ての施策に気候変動適応の観点を組み込みます。また、事業者が作成する経営計画等にも気候変動に配慮するよう促していきます。

2. 本県の実情に応じた適応策の推進

日本で唯一の亜熱帯海洋性気候に育まれた独自の生態系や、160 の島々からなる島しょ県、台風常襲地域といった本県の持つ地域特性に鑑み、気候変動影響の現状及び将来予測について適切に収集・整理し、本県の実情に応じた適応策を推進します。

3. 気候変動情報の行政・県民・事業者との共有

将来起こりうる想定外の自然災害や気象現象に対して、生活を守る適切な行動が取れるよう、セミナーやイベントなどあらゆる機会を活用して気候変動情報を行政・県民・事業者間で広く共有します。

4. 科学的知見の集約

気候変動及び適応策に関する様々な科学的知見を収集し発信する、情報拠点の核となるような「気候変動適応センター」の設置を目指し、国立環境研究所や気象台等の関係機関と連携し、最新情報の収集及び発信体制の構築を図ります。

気候変動に適応できる社会

図 3-1-11 沖縄県の気候変動適応推進方針

第2章 沖縄県における気候変動適応策

1. 沖縄県における気候変動の影響及び適応策

本県における気候変動の影響及び適応策項目の選定には、「気候変動影響評価報告書(環境省)」(2020(令和2)年12月)及び「気候変動適応計画(2023(令和5)年5月30日閣議決定(一部変更)(環境省))」による国の評価結果を参考としています。

国の評価結果と本県で把握している情報を基に、本県における気候変動影響の整理及びその評価を実施するため、国で整理されている「農業・林業・水産業」、「水環境・水資源」、「自然生態系」、「自然災害・沿岸域」、「健康」、「産業・経済活動」、「国民生活・都市生活」の7分野に加えて、本県における「基盤的施策」及び「普及啓発」の2分野から本県で取り組む項目を選定し、現在の影響及び将来想定される影響と適応策について、体系的に整理しました。加えて、本県で既に影響がでている細目や地域の特色等に着目し、本県での重要度を評価しています。

また、本計画の推進においては、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の理念と整合をはかりながら進めることが重要です。

特に、SDG13(気候変動に具体的な対策を)をはじめとして、各分野における適応策は、環境・社会・経済の調和を図る持続可能な地域づくりにも資するものであり、本計画ではSDGsとの関連も併せて示しています。

なお、適応策の推進にあたっては、例えば、河川改修工事においては環境配慮型工事を推進するなど地域環境や生態系に配慮し、SDGsに相反しない持続可能な取組が求められます。

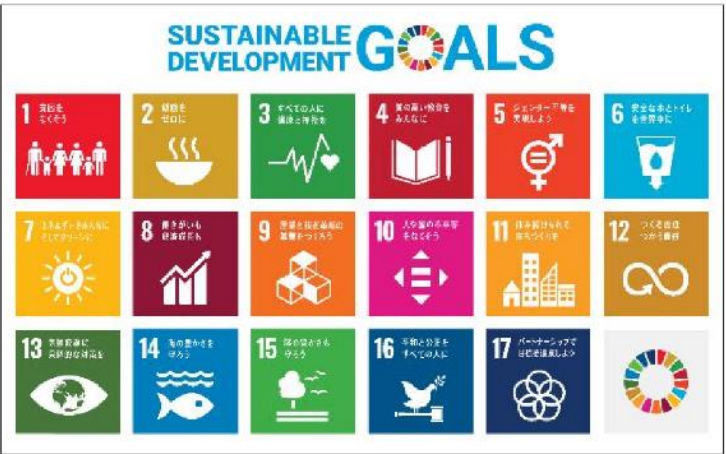


図3-2-1 SDGsの17のゴール(目標)

第2章 沖縄県における気候変動適応策

1. 沖縄県における気候変動の影響及び適応策

本県における気候変動の影響及び適応策項目の選定には、「気候変動影響評価報告書(環境省)」(2020(令和2)年12月)による国の評価結果を参考としています。

今回、国の評価結果と本県で把握している情報を基に、本県における気候変動影響の整理及びその評価を実施するため、国で整理されている「農業・林業・水産業」、「水環境・水資源」、「自然生態系」、「自然災害・沿岸域」、「健康」、「産業・経済活動」、「国民生活・都市生活」の7分野に加えて、本県における「基盤的施策」及び「普及啓発」の2分野から本県で取り組む項目を選定し、現在の影響及び将来想定される影響と適応策について、体系的に整理しました。加えて、本県で既に影響がでている細目や地域の特色等に着目し、本県での重要度を評価しています。

また、本計画の推進においては、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に示す国際目標であるSDGsの取組との相乗効果が期待されることから、ここでは、SDG13(気候変動に具体的な対策を)をはじめとして、各分野における適応策とSDGsとの関連も併せて示しています。

なお、適応策の推進にあたっては、例えば、河川改修工事においては環境配慮型工事を推進するなど、SDGsに相反しないような取組が求められます。



図3-2-1 SDGsの17のゴール(目標)

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

表3-2-1 適応策の施策体系

分野	項目	細目	SDG s
(1) 農業・ 林業・ 水産業	農業	水稲	3 持続可能な開発目標
		野菜等	9 産業・雇用・イノベーション
		果樹	11 持続可能な都市とコミュニティ
		畜産	12 持続可能な消費と生産
		病害虫・雑草等	15 陸域生態系
	林業	農業生産基盤	17 パートナーシップ
		木材生産(人工林等)	
	水産業	特用林産物(きのこ類等)	
		回遊性魚介類(魚類等の生態)	
		増養殖等	
(2) 水環境・ 水資源	水環境	沿岸域・内水面漁場環境等	
	水資源	水供給(地表水)	3 持続可能な開発目標
(3) 自然生態系	沿岸生態系	亜熱帯	3 持続可能な開発目標
		生物季節	9 産業・雇用・イノベーション
	その他	分布・個体群の変動(在来生物)	13 気候変動
		分布・個体群の変動(外来生物)	14 持続可能な海洋資源
	生態系サービス	沿岸域の藻場生態系による水産資源の供給機能等	17 パートナーシップ
(4) 自然災害・ 沿岸域	河川	洪水・内水	9 産業・雇用・イノベーション
	沿岸	海面水位の上昇	11 持続可能な都市とコミュニティ
		高潮・高波	13 気候変動
	山地	土石流・地すべり等	15 陸域生態系
	その他	強風等	17 パートナーシップ
(5) 健康	暑熱	死亡リスク等	
		熱中症等	3 持続可能な開発目標
		感染症	11 持続可能な都市とコミュニティ
		脆弱性が高いと思われる高齢者等への影響	13 気候変動
(6) 産業・ 経済活動	観光業	観光業	9 産業・雇用・イノベーション
	建設業	建設・建設工事	11 持続可能な都市とコミュニティ
(7) 国民生活・ 都市生活	都市インフラ・ライフライン等	水道・交通等	3 持続可能な開発目標
		文化・歴史などを感ずる暮らし	11 持続可能な都市とコミュニティ
	その他	暑熱による生活への影響等	13 気候変動
		地方公共団体の気候変動適応に関する施策の促進	17 パートナーシップ
(8) 基盤的施策	基盤的施策	環境影響評価制度の推進	15 陸域生態系
			17 パートナーシップ
(9) 普及啓発	水資源	水供給(地表水)	3 持続可能な開発目標
		分布・個体群の変動(外来生物)	13 気候変動
	自然災害等	洪水・内水	11 持続可能な都市とコミュニティ
		高潮・高波	13 気候変動
	沿岸	土石流・地すべり等	15 陸域生態系
		強風等	17 パートナーシップ
	暑熱	死亡リスク等	
		熱中症等	3 持続可能な開発目標

表3-2-1 適応策の施策体系

分野	項目	細目	SDG s
(1) 農業・ 林業・ 水産業	農業	水稲	3 持続可能な開発目標
		野菜等	9 産業・雇用・イノベーション
		果樹	11 持続可能な都市とコミュニティ
		畜産	12 持続可能な消費と生産
		病害虫・雑草等	15 陸域生態系
	林業	農業生産基盤	17 パートナーシップ
		木材生産(人工林等)	
	水産業	特用林産物(きのこ類等)	
		回遊性魚介類(魚類等の生態)	
		増養殖等	
(2) 水環境・ 水資源	水環境	沿岸域・内水面漁場環境等	
	水資源	水供給(地表水)	3 持続可能な開発目標
(3) 自然生態系	沿岸生態系	亜熱帯	3 持続可能な開発目標
		生物季節	9 産業・雇用・イノベーション
	その他	分布・個体群の変動(在来生物)	13 気候変動
		分布・個体群の変動(外来生物)	14 持続可能な海洋資源
	生態系サービス	沿岸域の藻場生態系による水産資源の供給機能等	17 パートナーシップ
(4) 自然災害・ 沿岸域	河川	洪水・内水	9 産業・雇用・イノベーション
	沿岸	海面水位の上昇	11 持続可能な都市とコミュニティ
		高潮・高波	13 気候変動
	山地	土石流・地すべり等	15 陸域生態系
	その他	強風等	17 パートナーシップ
(5) 健康	暑熱	死亡リスク等	
		熱中症等	3 持続可能な開発目標
		感染症	11 持続可能な都市とコミュニティ
		脆弱性が高いと思われる高齢者等への影響	13 気候変動
(6) 産業・ 経済活動	観光業	海洋観光	9 産業・雇用・イノベーション
	建設業	建設・建設工事	11 持続可能な都市とコミュニティ
(7) 国民生活・ 都市生活	都市インフラ・ライフライン等	水道・交通等	3 持続可能な開発目標
		文化・歴史などを感ずる暮らし	11 持続可能な都市とコミュニティ
	その他	暑熱による生活への影響等	13 気候変動
		地方公共団体の気候変動適応に関する施策の促進	17 パートナーシップ
(8) 基盤的施策	基盤的施策	環境影響評価制度の推進	15 陸域生態系
			17 パートナーシップ
(9) 普及啓発	水資源	水供給(地表水)	3 持続可能な開発目標
		分布・個体群の変動(外来生物)	13 気候変動
	自然災害等	洪水・内水	11 持続可能な都市とコミュニティ
		高潮・高波	13 気候変動
	沿岸	土石流・地すべり等	15 陸域生態系
		強風等	17 パートナーシップ
	暑熱	死亡リスク等	
		熱中症等	3 持続可能な開発目標

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

1 【国の評価結果の凡例、重大性・緊急性・確信度の評価の考え方】

気候変動適応計画（令和5年5月30日閣議決定（一部変更）（環境省））			
凡 例			
【重大性（2℃上昇）※】●：特に重大な影響が認められる > ◆：影響が認められる（上段に表示）－：現状では評価できない			
【重大性（4℃上昇）※】●：特に重大な影響が認められる > ◆：影響が認められる（下段に表示）－：現状では評価できない			
【緊急性、確信度】 ●：高い > ▲：中程度 > ■：低い －：現状では評価できない			
※重大性を上段、下段で区分した評価結果：（上段）RCP2.6により2100年で2℃上昇 ：（下段）RCP8.5により2100年で4℃上昇			
【RCP（Representative Concentration Pathways）とは】 人間活動に伴う温室効果ガス等の大気中の濃度が、将来どの程度になるかを想定したものを「排出シナリオ」と呼んでいます。現在では、主にRCP（代表的濃度経路）シナリオと呼ばれる排出シナリオが、国際的に共通して用いられ、RCP2.6、RCP4.5、RCP6.0、RCP8.5があります。RCPに続く数値は、その値が大きいほど2100年までの温室効果ガス排出が多いことを意味します。（数値は、地球の放射エネルギー収支の1750年を基準とする変化量を表しています。単位はW/m ² 。）			

2
3
4
5
6
7
8

【国の評価結果の凡例、重大性・緊急性・確信度の評価の考え方】

国の気候変動影響評価報告書での評価（2020年）			
凡 例			
【重大性（2℃上昇）※】●：特に重大な影響が認められる > ◆：影響が認められる（上段に表示）－：現状では評価できない			
【重大性（4℃上昇）※】●：特に重大な影響が認められる > ◆：影響が認められる（下段に表示）－：現状では評価できない			
【緊急性、確信度】 ●：高い > ▲：中程度 > ■：低い －：現状では評価できない			
※重大性を上段、下段で区分した評価結果：（上段）RCP2.6により2100年で2℃上昇 ：（下段）RCP8.5により2100年で4℃上昇			
【RCP（Representative Concentration Pathways）とは】 人間活動に伴う温室効果ガス等の大気中の濃度が、将来どの程度になるかを想定したものを「排出シナリオ」と呼んでいます。現在では、主にRCP（代表的濃度経路）シナリオと呼ばれる排出シナリオが、国際的に共通して用いられ、RCP2.6、RCP4.5、RCP6.0、RCP8.5があります。RCPに続く数値は、その値が大きいほど2100年までの温室効果ガス排出が多いことを意味します。（数値は、地球の放射エネルギー収支の1750年を基準とする変化量を表しています。単位はW/m ² 。）			

重大性の評価の考え方	①影響の程度（エリア・期間）、②影響が発生する可能性、③影響の不可逆性（元の状態にすることの困難さ）、④当該影響に対する持続的な脆弱性・曝露の規模の4項目をもとに、社会、経済、環境の観点で重大性を判断。
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

緊急性の評価の考え方	評価の尺度			最終評価の 示し方	
	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	
	1. 影響の発現時期	既に影響が生じている。	21世紀中頃までに影響が生じる可能性が高い。	影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。また、不確実性が極めて大きい。	
緊急性の評価の考え方	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	できるだけ早く意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定を行う必要性は低い。	1及び2の双方の観点からの検討を勘案し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。g

緊急性の評価の考え方	評価の尺度			最終評価の 示し方	
	評価の観点	緊急性は高い	緊急性は中程度	緊急性は低い	
	1. 影響の発現時期	既に影響が生じている。	21世紀中頃までに影響が生じる可能性が高い。	影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。また、不確実性が極めて大きい。	
緊急性の評価の考え方	2. 適応の着手・重要な意思決定が必要な時期	できるだけ早く意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定が必要である。	概ね10年以内（2030年頃より前）に重大な意思決定を行う必要性は低い。	1及び2の双方の観点からの検討を勘案し、小項目ごとに緊急性を3段階で示す。

確信度の評価の考え方	評価の段階（考え方）			最終評価の 示し方
	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い
	IPCCの確信度の評価 ○研究・報告の種類・量・質・整合性 ○研究・報告の見解の一致度	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。

確信度の評価の考え方	評価の段階（考え方）			最終評価の 示し方
	評価の観点	確信度は高い	確信度は中程度	確信度は低い
	IPCCの確信度の評価 ○研究・報告の種類・量・質・整合性 ○研究・報告の見解の一致度	IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。	IPCCの確信度の「中程度」以上に相当する。	IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。

109

98

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(1) 農業・林業・水産業

本県では温暖な気候を活かしたマンゴー栽培などの農業やモズク養殖などの水産業が盛んに行われている中で、気候変動による自然環境の変化に伴う農林水産業への影響・被害、栽培適地の変化に伴う産地競争が懸念されています。今後、気温の上昇又は自然災害の強大化に対して、農作物の高温耐性品種の導入や、環境変化に対応した水産養殖技術開発など、農林水産資源を守るための適応策を展開します。

項目	細目	国による影響評価 (高気圧計画)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
農業	水稲	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	○	【将来の影響】 ・ 気温上昇の程度によっては、栽培品種を変更する影響の可能性がある。 ・ 将来の降水パターンの変化は、出穂期の遅れによる米の減収率が高くなり、豊凶率が増える恐れがある。 ・ 高温による品質の低下 (白米率の低下等) 等の影響が懸念される。 ・ 極端な高温年には収量の減少も見られる恐れがある。	・ 気温の上昇を含めた、地域適応性の高い品種・系統の選抜に取り組む。
	野菜等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	【現在の影響】 ・ 露地野菜では、高温による生育不良、生育遅延や病害虫の発生及び多量による極端な遅れ等が報告されている。 ・ 施設野菜では、高温による生育不良、生育遅延等が報告されている。 ・ 花きでは、キクなどで夏の高温による苗の生育不良や、冬期以降までの生育の遅延等が報告されている。 【将来の影響】 ・ 適正な品種選択を行うことで、栽培そのものが不可能になる可能性は低いと想定されるものの、さらなる気候変動が、野菜等の計画的な生産・出荷を困難にする可能性がある。 ・ サトウキビでは、生育が旺盛な時期に干ばつが発生すると生育が停滞し、収量の減少が見られる恐れがある。	・ 作付け品種の高温耐性品種の導入に取り組む。 ・ 台風等の自然災害にも対応する強化型耐性施設を導入し、施設内高温対策の整備を推進・支援する。 ・ 農家に対し高温対策として、かん水や遮光の指導を行うとともに、暑熱対策に関する展示を設置し、技術の普及を図る。 ・ サトウキビの生育が旺盛な時期である梅雨明け後は降水量が少ない時期にあたるため、関係機関及び生産者に対し、適切なかん水の実施に取り組むよう周知活動を行う。
	果樹	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	【現在の影響】 ・ マンゴーでは、果実肥大期における果皮腐敗による日焼け果等の問題がある。 ・ バインアップルでは収穫期の遅れや花芽形成処理効果が低減する等の問題がある。 【将来の影響】 ・ マンゴーは秋冬期の高温により着花着果の不良が発生することが予測されている。 ・ バインアップルは、気温の上昇により規定以上に収穫期が早まることが予測されている。	・ 気候変動に対応した果樹優良品種の開発、安定生産技術の開発に取り組む。 ・ 台風等の自然災害にも対応する強化型耐性施設を導入し、施設内高温対策の整備を推進・支援する。

(1) 農業・林業・水産業

本県では温暖な気候を活かしたマンゴー栽培などの農業やモズク養殖などの水産業が盛んに行われている中で、気候変動による自然環境の変化に伴う農林水産業への影響・被害、栽培適地の変化に伴う産地競争が懸念されています。今後、気温の上昇又は自然災害の強大化に対して、農作物の高温耐性品種の導入や、環境変化に対応した水産養殖技術開発など、農林水産資源を守るための適応策を展開します。

(その1)

項目	細目	国による影響評価 (2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
農業	水稲	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	○	・ 気温上昇の程度によっては、栽培品種を変更する影響の可能性があり得る。	・ 地域適応性に対応した品種選定をするため、奨励品種の栽培試験に取り組む。
	野菜等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	・ 適正な品種選択を行うことで、栽培そのものが不可能になる可能性は低いと想定されるものの、さらなる気候変動が、野菜等の計画的な生産・出荷を困難にする可能性がある。	・ 作付け品種の高温耐性品種の導入に取り組む。 ・ 台風等の自然災害にも対応する強化型耐性施設を導入し、施設内高温対策の整備を推進・支援する。
	果樹	重大性: ● 重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	・ マンゴーは秋冬期の高温により着花着果の不良が発生することが予測されている。 ・ バインアップルは、気温の上昇により規定以上に収穫期が早まることが予測されている。	・ 気候変動に対応した果樹優良品種の開発、安定生産技術の開発に取り組む。 ・ 台風等の自然災害にも対応する強化型耐性施設を導入し、施設内高温対策の整備を推進・支援する。
	畜産	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	・ 気温上昇などにより家畜 (牛、豚、鶏等) の生産能力、繁殖機能の低下が予測されています。	・ 畜舎内の散水・散霧や換気、屋根の遮熱化・散水等の暑熱対策の普及、密飼 (高密度飼育) の回避の指導等に取り組む。
	病害虫・雑草等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	・ 高温による一部の病害虫の発生増加や長期化するなど、気温上昇による被害増大の影響が指摘されています。	・ 診断方法や既存防除技術を取りまとめた診断・防除マニュアル作成に取り組む。 ・ 病害虫のリスク評価や調査法の改善及び定着防止技術の開発・高度化に取り組む。
	農業生産基盤	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	・ 集中豪雨の増加は、地下水供給の増加、斜面災害の多発を引き起こし、農地農業用施設への影響が懸念されています。 ・ 集中豪雨の増加は、農地からの耕土流出が増えることで農地の劣化を招き、河川及び沿岸生態系への影響が懸念されています。	・ 地すべり対策や排水路の整備、ハザードマップ策定などのリスク評価の実施などハード・ソフト対策を適切に組み合わせ、農村地域の防災・減災機能の維持に取り組む。 ・ 農地の勾配修正、グリーンベルト、畑面植生 (※1) 等の発生源対策や、排水路 (※2)、沈砂池、浸透池等の流出水対策に取り組む。

※青文字：県で取組は実施していないが、国の影響評価及び適応計画を基に重要と思われる細目について参考記載

※○：本県において施策が実施されている細目

※◎：本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる細目

※1 緑生：ある地域一帯に生育している植物の集団

※2 排水路：背後地からの水を遮断し、区域内に流出させずに排水するための水路

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

項目	細目	国による影響評価 (改定計画版)	原の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における対応策
畜産	畜産	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	【現在の影響】 ・気温上昇などにより家畜(牛、豚、鶏等)の生産能力、繁殖機能の低下がみられる。 【将来の影響】 ・気温上昇などにより家畜の伝染病の流行地域や流行期間の拡大等が予想されている。	・畜舎内の放水・散水や換気、屋根の遮熱化・放水等の暑熱対策の普及、密飼い(高密度飼育)の回避の指導等に取り組む。 ・家畜伝染病に係る防疫対策指導等に取り組む。
				【将来の影響】 ・高温による一部の病害虫の発生増加や長期化するなど、気温上昇による被害増大の影響が指摘されている。	・診断方法や感染予防技術を取りまとめた診断・防除マニュアル作成に取り組む。 ・病害虫のリスク評価や調査法の改善及び定着防止技術の開発・高度化に取り組む。 ・病害虫、風水害に強い抵抗性品種の育成及び栽培技術による防災農の確立に努める。
				【将来の影響】 ・集中豪雨(多雨・漏水)や降雨強度の増加の増大や気温の上昇により農業生産基盤への影響が及ぶことが予測される。 ・集中豪雨の発生頻度や降雨強度の増加により農地の基水被害等のリスクが増加することが予測されている。 ・集中豪雨の増加は、農地からの耕土流出が増えることで農地の劣化を招き、河川及び沿岸生態系への影響が懸念されている。	・地すべり対策や排水・ため池の整備、ハザードマップ策定などのリスク評価の実施などハード・ソフト対策を適切に組み合わせ、農村地域の防災・減災機能の維持に取り組む。 ・農地の勾配修正、グリーンベルト、畑面養生等の発生源対策や、排水路、沈砂池、浸透池等の流出水対策に取り組む。
				【将来の影響】 ・気温の上昇により松くい虫被害の発生期間の長期化が懸念される。 ・気温の上昇は、病害虫の分布の拡大や害虫の発生世代数の増加を生じさせ、人工林への被害が拡大する可能性がある。	・マツ枯れ被害の蔓延を防止するため、マツノマダラカミキリに対する薬剤散布や、マツノザイセンチュウに対する樹幹注入などの予防と被害木の駆除に取り組む。 ・松くい虫の防除対策は、近年の気候変動等の影響を踏まえた生態の把握、発生予測の精度向上に努める。
林業	木材生産(人工林等)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	【将来の影響】 ・気温の上昇は、病害虫の分布の拡大や害虫の発生世代数の増加を生じさせ、人工林への被害が拡大する可能性がある。	・イヌマキを加害するキオビエダシヤクは、被害状況、被害森林の多面的復旧等を調査して、防除を実施する。 ・気候変動影響による新たな病害虫の侵入については、早期発見、早期防除が重要であることから、関係機関と連携し、被害を見逃さない監視、通報体制の整備等、普及活動や注意喚起を図る。
				【将来の影響】 ・シイタケほだ場での分離観察が高いシイタケ病原体のトリコデルマ・ハルチアナムによる被害は、高い湿度環境で大きくなることが確認されつつある。 ・夏場の高温がシイタケ栽培に影響を及ぼすヒコクレア菌による被害を助長する要因となっている可能性がある。	・本県の気候に適したアラゲキクラゲの品種登録に向けて、種類の選別、研究等に取り組む。 ・気候変動の進行による病原菌等の発生や収穫量等に関するデータを蓄積し、高温化に適したきのこ類の栽培技術や品種等の開発・実証・普及に取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・沖縄周辺海域での漁業調査、ソデイカの資源量調査、国と共同でのクロマグロ産卵調査等を実施し情報収集に取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
水産業	回遊性魚介類(魚類等の生態)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・沖縄周辺海域での漁業調査、ソデイカの資源量調査、国と共同でのクロマグロ産卵調査等を実施し情報収集に取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
水産業	増養殖等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
水産業	沿岸域・内水面漁場環境等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。

(その2)

項目	細目	国による影響評価 (2020年)	県による重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における対応策
林業	木材生産(人工林等)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	【現在の影響】 ・気温の上昇などにより家畜(牛、豚、鶏等)の生産能力、繁殖機能の低下がみられる。 【将来の影響】 ・気温の上昇などにより家畜の伝染病の流行地域や流行期間の拡大等が予想されている。	・畜舎内の放水・散水や換気、屋根の遮熱化・放水等の暑熱対策の普及、密飼い(高密度飼育)の回避の指導等に取り組む。 ・家畜伝染病に係る防疫対策指導等に取り組む。
				【将来の影響】 ・高温による一部の病害虫の発生増加や長期化するなど、気温上昇による被害増大の影響が指摘されている。	・診断方法や感染予防技術を取りまとめた診断・防除マニュアル作成に取り組む。 ・病害虫のリスク評価や調査法の改善及び定着防止技術の開発・高度化に取り組む。 ・病害虫、風水害に強い抵抗性品種の育成及び栽培技術による防災農の確立に努める。
				【将来の影響】 ・集中豪雨(多雨・漏水)や降雨強度の増加の増大や気温の上昇により農業生産基盤への影響が及ぶことが予測される。 ・集中豪雨の発生頻度や降雨強度の増加により農地の基水被害等のリスクが増加することが予測されている。 ・集中豪雨の増加は、農地からの耕土流出が増えることで農地の劣化を招き、河川及び沿岸生態系への影響が懸念されている。	・地すべり対策や排水・ため池の整備、ハザードマップ策定などのリスク評価の実施などハード・ソフト対策を適切に組み合わせ、農村地域の防災・減災機能の維持に取り組む。 ・農地の勾配修正、グリーンベルト、畑面養生等の発生源対策や、排水路、沈砂池、浸透池等の流出水対策に取り組む。
				【将来の影響】 ・気温の上昇により松くい虫被害の発生期間の長期化が懸念される。 ・気温の上昇は、病害虫の分布の拡大や害虫の発生世代数の増加を生じさせ、人工林への被害が拡大する可能性がある。	・マツ枯れ被害の蔓延を防止するため、マツノマダラカミキリに対する薬剤散布や、マツノザイセンチュウに対する樹幹注入などの予防と被害木の駆除に取り組む。 ・松くい虫の防除対策は、近年の気候変動等の影響を踏まえた生態の把握、発生予測の精度向上に努める。
水産業	回遊性魚介類(魚類等の生態)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・沖縄周辺海域での漁業調査、ソデイカの資源量調査、国と共同でのクロマグロ産卵調査等を実施し情報収集に取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
水産業	増養殖等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
水産業	沿岸域・内水面漁場環境等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。
				【将来の影響】 ・高水温が要因とされる分布・回遊域の変化が報告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においても、マグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されています。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。 ・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。

新 旧 対 照 表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)					(旧) 現行計画		
1	水産業	回遊性魚介類(魚類等の生類)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	○	【将来の影響】 ・海水温が要因とされる分布・回遊域の変化が警告され、漁獲量が減少した地域もあり、本県においてもマグロ類やカツオ類、ソデイカ等の影響が懸念されている。	・沖縄周辺海域での漁業調査、ソデイカの資源量調査、国と共同でのクロマグロ産卵調査等を実施し情報収集に取り組む。	
2		増養殖業	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	【現在の影響】 ・海水温が低く、モズク養殖の開始時期が遅れる状況が見受けられる。	・環境変化に対応したモズク培養種の作出や養殖技術の開発に取り組む。	
3					【将来の影響】 ・養殖魚類の産地については夏季の水温上昇、モズク養殖業については冬場の水温上昇により、養殖不慮になる海域が出ると予測されている。	・魚介類養殖における疾病対策などに取り組む。	
4					・また、未知の疫病の侵入などが危惧されている。		
5		沿岸域・内水面・海境等	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ▲	◎	【現在の影響】 ・沖縄海域で、海水温の上昇により亜熱帯性サンゴの白化現象の頻度が増大している。2022年、2024年には、海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られた。	・沿岸域における水産資源の状況調査などに取り組む。	
6					【将来の影響】 ・サンゴ礁や海草藻場の減少に伴う沿岸域の環境変化による水産資源への影響が懸念されている。		
7	※ 青文字: 県で取組は実施していないが、国の影響評価及び漁政計画を基に重要と思われる項目について参考に記載						
8	※ ○: 本県において施策が実施されている項目						
9	※ ◎: 本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる項目						
10	※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更等した内容						
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(2) 水環境・水資源

本県の河川は限られた陸地面積と急峻な勾配が多い地形的な特徴により、河床勾配が急で延長が短く、降水の多くが直接河川から海域へと流出するため、気候変動による降水量増加に伴う河川・海域への赤土等流出が懸念されます。また、気候変動による無降水日の増加に伴う渇水被害の発生も懸念されていることから、赤土等の堆積状況等のモニタリングや地下水・中水利用の取組など水環境・水資源を守るための適応策を展開していきます。

項目	細目	国による影響評価 (適応計画版)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
水環境	河川	重大性: ● 緊急性: ▲ 確信度: ●	◎	【現在の影響】 ・2024年度の海域の赤土等堆積状況は、モニタリング開始以降最も悪くなっている。 【将来の影響】 ・気候変動による降水量の増加は赤土等の流出量を増加させ、沿岸域の赤土等堆積状況の悪化をもたらす可能性がある。 ・降雨強度の高い降雨の増加により、河川を通じて海域への赤土等流出量の増加が懸念されている。	・水質の常時監視を行うとともに、気候変動にともなう変化が検出できるようデータの蓄積を行っている。 ・海域における赤土等堆積状況のモニタリングを行い、降雨状況や陸域における土地利用状況も考慮し、気候変動による赤土等流出状況の変化を把握すると共に、変化に応じた赤土等流出防止対策を検討する。
	水供給 (地表水)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	◎	【現在の影響】 ・2023年9月以降の小雨により、直近10年でダム貯水率が過去最低を記録した。 【将来の影響】 ・気候変動により将来的に少雨が続くことも想定される。 ・入域観光客数の増加に伴い水使用量が増加すると予想される中、気候変動による無降水日の増加により水不足が発生することが懸念されている。	・下水処理水の一部を高度処理 (生物膜ろ過+オゾン処理+塩素消毒) し、雑用水 (トイレ洗浄水、散水用水等) への利用に取り組む。 ・地下水の利用、トイレ用水等の用途での雨水、中水の利用に取り組む。 ・海水淡水化施設を導入する等、渇水対策、災害時の水資源対策に取り組む。

※ 青文字: 県で取組は実施していないが、国の影響評価及び適応計画を基に重要と思われる細目について参考に記載

※ ○: 本県において施策が実施されている細目

※ ◎: 本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる細目

※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更等した内容

(2) 水環境・水資源

本県の河川は限られた陸地面積と急峻な勾配が多い地形的な特徴により、河床勾配が急で延長が短く、降水の多くが直接河川から海域へと流出するため、気候変動による降水量増加に伴う河川・海域への赤土等流出が懸念されます。また、気候変動による無降水日の増加に伴う渇水被害の発生も懸念されていることから、赤土等の堆積状況等のモニタリングや地下水・中水利用の取組など水環境・水資源を守るための適応策を展開していきます。

項目	細目	国による影響評価 (2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
水環境	河川	重大性: ● 緊急性: ▲ 確信度: ●	○	・気候変動による降水量の増加は土砂の流出量を増加させ、河川水中の濁度の上昇をもたらす可能性があります。	・水質の常時監視を行うとともに、気候変動にともなう変化が検出できるようデータの蓄積を行います。 ・赤土等の堆積状況モニタリングなどで、水環境の情報収集に取り組めます。
	水供給 (地表水)	重大性: ● 緊急性: ● 確信度: ●	○	・気候変動により将来的に少雨が続くことも想定されています。 ・入域観光客数の増加に伴い水使用量が増加すると予想される中、気候変動による無降水日の増加により水不足が発生することが懸念されています。	・下水処理水の一部を高度処理 (生物膜ろ過+オゾン処理+塩素消毒) し、雑用水 (トイレ洗浄水、散水用水等) への利用に取り組めます。 ・地下水の利用、トイレ用水等の用途での雨水、中水の利用に取り組めます。 ・海水淡水化施設を導入する等、渇水対策、災害時の水資源対策に取り組めます。

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(3) 自然生態系

東西約1,000km、南北約400kmの広大な海域に、大小様々な島々からなる本県は、南北に広く位置しており、約400種余の造礁サンゴが分布し、広大なサンゴ礁を形成しています。それらは海域の生態系を維持する生息域にもなっていますが、高水温によるサンゴの白化、集中豪雨に伴う赤土等の流出など、サンゴ礁生態系への影響が懸念されていることから、白化に強いサンゴの遺伝学的分析やサンゴ礁保全活動への支援などに取り組めます。

また、本県の陸域は本土と比較すると固有種が多い島しょ生態系を有し、多くの野生動植物の生育生息の場となっていますが、気温上昇による種の存続への影響が懸念されていることから、野生生物の生息・生育状況調査等の取組を実施し、本県の自然生態系を守るための適応策を展開します。

項目	細目	国による影響評価 (適応計画案)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
沿岸生態系	亜熱帯	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【現在の影響】 ・沖縄地域で、海水温の上昇により造礁サンゴの白化現象の頻度が拡大している。2022年、2024年には、海水温の上昇によるサンゴの白化現象が見られた。 ・西表島のマングローブについて、海面水位の上昇に伴う冠水頻度の増加によるものと考えられる立ち枯れが確認されている。 【将来の影響】 ・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等の流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されている。 ・海水温上昇と海洋酸性化によるサンゴ礁の消失の可能性が示唆されている。 ・マングローブについては、海面水位の上昇の速さとヒルギが対応できず、生育できなくなる場所も生じると予測されている。	・サンゴ稚苗等の白化現象による死亡が起これば、サンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組む。 ・NPO団体等が実施するモデル地域内でのサンゴ礁保全活動への支援に取り組む。 ・海洋酸性化によるサンゴ礁等への影響について、情報収集に努める。 ・マングローブの生育状況や分布状況について情報収集に努めるとともに、気候変動によるマングローブ生態系への影響調査について検討する。
	生物季節	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	○	【現在の影響】 ・植物の開花の早まりや動物の初鳴きの早まりなど、動植物の生物季節の変動について多数の報告が確認されている。 【将来の影響】 ・気候変動により、分布域の変化やライフサイクル等の変化が起これる可能性がある。2050年までに2℃を超える気温上昇を仮定した場合、全球で3割以上の種が絶滅する危険があると予測されている。	・生物季節の変動について情報収集に努めるとともに、変動が認められた場合は、気候変動による自然生態系全体への影響調査について検討する。 ・野生生物の生息・生育状況調査、生物多様性情報等の情報収集に取り組む。 ・生物多様性プラットフォームの構築により、本県の生物多様性に関する情報の一元化に取り組む。
その他	分布・個体群の変動 (在来生物)	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	○	【現在の影響】 ・気候変動により、分布域の変化やライフサイクル等の変化が起これる可能性がある。2050年までに2℃を超える気温上昇を仮定した場合、全球で3割以上の種が絶滅する危険があると予測されている。	・野生生物の生息・生育状況調査、生物多様性情報等の情報収集に取り組む。 ・生物多様性プラットフォームの構築により、本県の生物多様性に関する情報の一元化に取り組む。
	分布・個体群の変動 (外来生物)	重大性：● 緊急性：● 確信度：▲	○	【将来の影響】 ・気候変動は外来種の分布拡大や定着を促進することが指摘されており、今後、外来種による生態系への被害のリスクが高まる懸念がある。	・外来種の侵入及びそれらの定着状況等の調査を通して、情報収集に取り組む。

(3) 自然生態系

本県では約400種余の造礁サンゴが分布し、広大なサンゴ礁を形成しており、それが海域の生態系を維持する生息域にもなっていますが、高水温によるサンゴの白化、集中豪雨に伴う赤土等の流出など、サンゴ礁生態系への影響が懸念されていることから、白化に強いサンゴの遺伝学的分析やサンゴ礁保全活動への支援などに取り組めます。

また、本県の陸域は本土と比較すると固有種が多い島しょ生態系を有し、多くの野生動植物の生育生息の場となっていますが、気温上昇による種の存続への影響が懸念されていることから、野生生物の生息・生育状況調査等の取組を実施し、本県の自然生態系を守るための適応策を展開します。

(その1)

項目	細目	国による影響評価 (2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
沿岸生態系	亜熱帯	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・高水温によるサンゴの白化現象、集中豪雨による赤土等の流出が、サンゴ礁生態系に影響を及ぼすことが懸念されています。 ・マングローブについては、海面水位の上昇の速さとヒルギが対応できず、生育できなくなる場所も生じると予測されています。	・サンゴ稚苗等の白化現象による死亡が起これば、サンゴの遺伝学的分析、遮光等による白化軽減技術の開発等に取り組む。 ・NPO団体等が実施するモデル地域内でのサンゴ礁保全活動への支援に取り組む。 ・マングローブの生育状況や分布状況について情報収集に努めるとともに、気候変動によるマングローブ生態系への影響調査について検討する。
	生物季節	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	○	・植物の開花の早まりや動物の初鳴きの早まりなど、動植物の生物季節の変動について多数の報告が確認されています。	・生物季節の変動について情報収集に努めるとともに、変動が認められた場合は、気候変動による自然生態系全体への影響調査について検討する。
その他	分布・個体群の変動 (在来生物)	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	○	・RCP2.6で予測される2050年までに2℃を超える気温上昇を仮定した場合、全球で3割以上の種が絶滅する危険があると予測されています。	・野生生物の生息・生育状況調査、生物多様性情報等の情報収集に取り組む。 ・生物多様性プラットフォームの構築により、本県の生物多様性に関する情報の一元化に取り組む。
	分布・個体群の変動 (外来生物)	重大性：● 緊急性：● 確信度：▲	○	・侵略的外来生物の侵入及びそれらの定着確率が気候変動により高まる懸念があります。	・外来種の侵入及びそれらの定着状況等の調査を通して、情報収集に取り組む。

新 旧 対 照 表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

項目	細目	国による影響評価 (適応計画 5)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
生態系サービス	沿岸域の藻場・生態系による水産資源の供給機能等	重大性：● 緊急性：● 確信度：▲		【将来の影響】 ・沿岸漁業の基盤となる環境の変化が、漁獲対象種や漁獲高に影響を与える。それにより、沿岸域の地域社会等にも与える影響も大きいと考えられる。	・特に影響が生じる可能性が高いサンゴ礁、海草藻場等において、モニタリング調査を実施し、気候変動による影響の有無を評価できるようなデータの蓄積を行っていく。
	サンゴ礁による Eco-DRR 機能等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	○	【将来の影響】 ・白化や海洋酸性化によるサンゴ礁へのストレスは、サンゴ礁による防災機能に深刻な影響が生じる可能性がある。	・サンゴ礁などの自然環境の有する防災機能に関する普及啓発に取り組む。

※Eco-DRR：Ecosystem-based Disaster Risk Reduction、生態系を活用した防災・減災機能の意味

※ 青文字：県で取組は実施していないが、国の影響評価及び適応計画を基に重要と見られる細目について参考に記載

※ ○：本県において施策が実施されている細目

※ ◎：本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる細目

※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更等した内容

(その2)

項目	細目	国による影響評価 (2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
生態系サービス	沿岸域の生態系による水産資源の供給機能等	重大性：● 緊急性：● 確信度：▲		・沿岸漁業の基盤となる環境の変化が、漁獲対象種や漁獲高に影響を与えます。それにより、沿岸域の地域社会等にも与える影響も大きいと考えられます。	・特に影響が生じる可能性が高いサンゴ礁、海草藻場等において、モニタリング調査を実施し、気候変動による影響の有無を評価できるようなデータの蓄積を行っていきます。
	サンゴ礁による Eco-DRR 機能等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	○	・サンゴ礁の消失による防災機能の劣化・喪失が懸念されています。	・サンゴ礁などの自然環境の有する防災機能に関する普及啓発に取り組めます。

※Eco-DRR：Ecosystem-based Disaster Risk Reduction、生態系を活用した防災・減災機能の意味

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(4) 自然災害

本県では、気候変動の影響により海面水位が上昇傾向にあることや、1時間降水量30mm以上の発生頻度の増加が将来予測されていることなど、雨水流出の増大等による水害や海面水位上昇に伴う高潮・高波の影響が懸念されています。そのため、気候変動適応策として洪水被害を防御するための河川改修、潮位変動等に伴う設計潮位の見直し等の取組を実施します。

項目	細目	国による影響評価 (国定計画 R5)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
河川	洪水、内水	重大性：● 重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【現在の影響】 ・2024年の集中豪雨の際には取水ポンプ増が激化し、取水不可となった。 【将来の影響】 ・集中豪雨による河川取水施設の浸水、濁水による取水停止の増加が懸念されている。 ・降雨量の増大や集中豪雨による水害の激化、浸水が予測されている。 ・河川の近くの低平地等では、河川水位が上昇する頻度の増加によって、浸水被害の長期化を招くと懸念される。	・洪水による浸水被害を軽減するため河川改修による流下能力の向上やダムによる洪水調節によるピーク流量の軽減に取り組むとともに、河川改修と並行して、河川の浸水に ・洪水浸水想定区域の指定・公表や河川の水位を公表に取り組む。 ・集中豪雨などによる都市浸水被害を防止するため、雨水排水の公共下水道の整備に取り組む。 ・県及び市町村等の防災関係機関は、他の関係機関と連携の上、災害時に発生する状況を予測・想定し、各機関が実施する災害対応を時系列で整理した防災行動計画(タイムライン)を作成するよう努めるものとする。また、災害対応の検証等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うとともに、平時から図上訓練、実地訓練、津波避難実地訓練等を関係機関と連携して取り込み、計画の効果的な運用に努めるものとする。 ・生活物資等の調達や供給が円滑に行えるよう、民間事業者等との間で災害時の協定の締結・連携の推進に取り組む。 ・災害時の避難場所確保のため避難地としての役割を担う都市公園の整備に取り組む。 ・洪水、増水等により河川から取水が行えない場合は、ダム水を増やす等の水運用に取り組む。 ・慢性的な浸水低地帯については雨水貯留・浸透施設の設置促進、また、建築物の新築及び改築等に際しては地盤面の高上げを推進する等、長期的視点からその解決策を検討する。 ・水災害リスクの増大に備えるために、河川管理の二級水系においては、「河川管理河川の大規模改修に関する減災対策協議会」を活用し、流域全体で緊急的に実施すべき治水対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定・公表する。

(4) 自然災害

本県では、気候変動の影響により海面水位が上昇傾向にあることや、1時間降水量50mm以上の発生頻度の増加が将来予測されていることなど、雨水流出の増大等による水害や海面水位上昇に伴う高潮・高波の影響が懸念されています。そのため、気候変動適応策として洪水被害を防御するための河川改修、潮位変動等に伴う設計潮位の見直し等の取組を実施します。

(その1)

項目	細目	国による影響評価 (2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
河川	洪水・内水	重大性：● 重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・土地開発による透水面積の低下が進み、雨水流出が増大し、集中豪雨による水害が多発することが懸念されています。 ・台風の大規模化・強化に伴う被害の増加の可能性があります。 ・集中豪雨による河川取水施設の浸水、濁水による取水停止の増加が懸念されています。	・洪水被害を防御するため河川改修による流下能力の向上やダムによる流量の制御を行い、ピーク流量の軽減に取り組めます。 ・集中豪雨などによる都市浸水被害を防止するため、雨水排水の公共下水道の整備に取り組めます。 ・防災時の図上訓練、実地訓練、津波避難実地訓練等を関係機関と連携して取り組みます。 ・生活物資等の調達や供給が円滑に行えるよう、民間事業者等との間で災害時必要協定の締結・連携の推進に取り組めます。 ・災害時の避難場所確保のため避難地としての役割を担う都市公園の整備に取り組めます。 ・洪水、増水等により河川から取水が行えない場合は、ダム水を増やす等の水運用に取り組めます。

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

項目	細目	国による影響評価 (直前計画版)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
沿岸	海面水位の上昇	重大性：● 緊急性：▲ 確信度：●	◎	【将来の影響】 ・海面水位の上昇が生じると、台風、低気圧の強化が強い等にも、現在と比較して高潮、高波、津波による沿岸の防災施設、港湾・漁港施設等の機能の低下や損傷などの被災リスクが高まるとともに沿岸部の水没、浸水、海岸侵食の加速、港湾及び船舶運河への支障、干潟や河川の生態系間の生態系への影響が想定される。	・津波・高潮浸水想定、津波・高潮災害警戒区域の設定を行い、市町村が行うハザードマップの策定の基礎資料提供に取り組み。 ・潮位変動等に伴う、設計潮位の見直しを行い、防潮堤等の整備推進に取り組み。
	高潮・高波	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【将来の影響】 ・台風の頻度や経路の変化等による高波のリスクが増大する可能性が予測されている。 ・河川への海水遡上により、河川取水施設に海水が流入する被害の増加の可能性がある。 ・沿岸の防災施設、港湾・漁港施設等の構造物などでは、海面水位の上昇や台風や冬季の発達した低気圧の増加が加わり、潮位変動や波高が増大すると、浸水リスクが高まるなど安全性が十分確保できなくなる箇所が多くなると予測される。	・異常な現象の実態を把握し、対策を検討するための原因究明調査を推進するとともに、中長期的なモニタリングの実施に向けた観測監視体制を強化する。 ・また、取得した観測データを地域住民等に迅速に通知することで、避難等の対策の効率化を図るとともに、危険意識の向上に結び付けられるような情報公開に努める。 ・高潮・津波・浸水についての防護水準について検討する。 ・海岸防災林等の整備を強化し、津波・風害の災害防止機能の発揮を図る。 ・背後地の状況等を考慮して、設計の対象を超える津波、高潮等の作用に対して施設の損傷等を軽減するため、耐浸性能の調査や既存施設の補強、粘り強い構造の採用、胸壁及び基礎防波堤の整備を推進する。 ・河川取水施設の取水口でのカメラによる監視等を行い、海水遡上の対策に取り組み。 ・海岸と海岸付近の各施設（河川施設、防災施設、港湾施設）との連携や利用面等に考慮して、防護を必要とする区域の海岸保全施設の整備を促進する。 ・高潮発生時等の空域施設への影響を検討し、台風等に備えた浸水対策等を実施する。
	海岸侵食	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【将来の影響】 ・海面水位の上昇が進む場合、海岸保全施設の設計を見直す必要が生じてくる。 ・気候変動による海面水位の上昇によって、海岸が侵食される可能性が高い。	・海岸保全施設として養浜工を行うことにより、砂浜の再生に取り組み。 ・海岸環境を積極的に保全する区域として定めた区域において保安林を防護する施設が必要となった場合には、関係機関と協議した上で、より自然的な海岸環境が保たれるような整備手法について検討する。
山地	土石流・地すべり等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【将来の影響】 ・豪雨や集中豪雨による土砂災害発生の危険度が高まること懸念されている。 ・気候変動による災害危険区域の拡大や、そこに生活することにより、生命	・土砂災害の発生する恐れのある区域について、砂防施設、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設の整備推進に取り組み。 ・土砂・洪水氾濫リスクの高い流域を明らかにし、土砂・洪水氾濫対策

(その2)

項目	細目	国による影響評価 (2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
沿岸	海面水位の上昇	重大性：● 緊急性：▲ 確信度：●	◎	・気候変動による海面水位の上昇が進んだ場合、砂浜消失が懸念されるほか、津波や高潮による危害の区域を見直す影響があります。	・津波・高潮浸水想定、津波・高潮災害警戒区域の設定を行い、市町村が行うハザードマップの策定の基礎資料提供に取り組みます。
	高潮・高波	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・海面水位の上昇が進む場合、設計水位を見直す必要が生じてきます。 ・河川への海水遡上により、河川取水施設に海水が流入する被害の増加の可能性がります。	・潮位変動等に伴う、設計潮位の見直しを行い、防潮堤等の整備推進に取り組みます。 ・11津波等を想定して、津波に対応する防護機能の評価等に取り組みます。 ・港湾施設の耐震性向上等を検討していきます。
	海岸侵食	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・海面水位の変動が生じる場合、海岸保全施設の設計を見直す必要が生じてきます。	・河川取水施設の取水口でのカメラによる監視等を行い海水遡上の対策に取り組みます。 ・海岸保全施設として養浜工を行うことにより、砂浜の再生に取り組みます。
山地	土石流・地すべり等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・長雨や集中豪雨による土砂災害発生の危険度が高まること懸念されています。 ・土砂災害が生ずるおそれのある住宅区域への影響が懸念されています。	・土砂災害の発生する恐れのある区域について、砂防施設、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設の整備推進に取り組みます。 ・土砂災害警戒区域を指定することにより、住民に周知し、市町村の警戒避難体制の整備促進に取り組みます。 ・森林の土砂流出防止機能等を発揮させるため、人工造林、樹下植栽、除伐等の森林整備に取り組みます。
	強風等	重大性：● 緊急性：● 確信度：▲	◎	・強い台風の増加等が予測されています。	・生活物資等の調達や供給が円滑に行えるよう、民間事業者等との間で災害時必要協定の締結・連携の推進に取り組みます。 ・防災時の図上訓練、実働訓練等を関係機関と連携して取り組みます。 ・住宅等に供する建築物の建築禁止に取り組みます。
その他					・農林水産分野においては、災害に強い低コスト耐震性ハウスの導入等を推進するとともに、気象災害に関する情報を活用し、身の安全を確保する行動を促進します。

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66
67	68	69	70	71	72
73	74	75	76	77	78
79	80	81	82	83	84
85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96
97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108
109	110	111	112	113	114
115	116	117	118	119	120
121	122	123	124	125	126
127	128	129	130	131	132
133	134	135	136	137	138
139	140	141	142	143	144
145	146	147	148	149	150
151	152	153	154	155	156
157	158	159	160	161	162
163	164	165	166	167	168
169	170	171	172	173	174
175	176	177	178	179	180
181	182	183	184	185	186
187	188	189	190	191	192
193	194	195	196	197	198
199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210
211	212	213	214	215	216
217	218	219	220	221	222
223	224	225	226	227	228
229	230	231	232	233	234
235	236	237	238	239	240
241	242	243	244	245	246
247	248	249	250	251	252
253	254	255	256	257	258
259	260	261	262	263	264
265	266	267	268	269	270
271	272	273	274	275	276
277	278	279	280	281	282
283	284	285	286	287	288
289	290	291	292	293	294
295	296	297	298	299	300
301	302	303	304	305	306
307	308	309	310	311	312
313	314	315	316	317	318
319	320	321	322	323	324
325	326	327	328	329	330
331	332	333	334	335	336
337	338	339	340	341	342
343	344	345	346	347	348
349	350	351	352	353	354
355	356	357	358	359	360
361	362	363	364	365	366
367	368	369	370	371	372
373	374	375	376	377	378
379	380	381	382	383	384
385	386	387	388	389	390
391	392	393	394	395	396
397	398	399	400	401	402
403	404	405	406	407	408
409	410	411	412	413	414
415	416	417	418	419	420
421	422	423	424	425	426
427	428	429	430	431	432
433	434	435	436	437	438
439	440	441	442	443	444
445	446	447	448	449	450
451	452	453	454	455	456
457	458	459	460	461	462
463	464	465	466	467	468
469	470	471	472	473	474
475	476	477	478	479	480
481	482	483	484	485	486
487	488	489	490	491	492
493	494	495	496	497	498
499	500	501	502	503	504
505	506	507	508	509	510
511	512	513	514	515	516
517	518	519	520	521	522
523	524	525	526	527	528
529	530	531	532	533	534
535	536	537	538	539	540
541	542	543	544	545	546
547	548	549	550	551	552
553	554	555	556	557	558
559	560	561	562	563	564
565	566	567	568	569	570
571	572	573	574	575	576
577	578	579	580	581	582
583	584	585	586	587	588
589	590	591	592	593	594
595	596	597	598	599	600
601	602	603	604	605	606
607	608	609	610	611	612
613	614	615	616	617	618
619	620	621	622	623	624
625	626	627	628	629	630
631	632	633	634	635	636
637	638	639	640	641	642
643	644	645	646	647	648
649	650	651	652	653	654
655	656	657	658	659	660
661	662	663	664	665	666
667	668	669	670	671	672
673	674	675	676	677	678
679	680	681	682	683	684
685	686	687	688	689	690
691	692	693	694	695	696
697	698	699	700	701	702
703	704	705	706	707	708
709	710	711	712	713	714
715	716	717	718	719	720
721	722	723	724	725	726
727	728	729	730	731	732
733	734	735	736	737	738
739	740	741	742	743	744
745	746	747	748	749	750
751	752	753	754	755	756
757	758	759	760	761	762
763	764	765	766	767	768
769	770	771	772	773	774
775	776	777	778	779	780
781	782	783	784	785	786
787	788	789	790	791	792
793	794	795	796	797	798
799	800	801	802	803	804
805	806	807	808	809	810
811	812	813	814	815	816
817	818	819	820	821	822
823	824	825	826	827	828
829	830	831	832	833	834
835	836	837	838	839	840
841	842	843	844	845	846
847	848	849	850	851	852
853	854	855	856	857	858
859	860	861	862	863	864
865	866	867	868	869	870
871	872	873	874	875	876
877	878	879	880	881	882
883	884	885	886	887	888
889	890	891	892	893	894
895	896	897	898	899	900
901	902	903	904	905	906
907	908	909	910	911	912
913	914	915	916	917	918
919	920	921	922	923	924
925	926	927	928	929	930
931	932	933	934	935	936
937	938	939	940	941	942
943	944	945	946	947	948
949	950	951	952	953	954
955	956	957	958	959	960
961	962	963	964	965	966
967	968	969	970	971	972
973	974	975	976	977	978
979	980	981	982	983	984
985	986	987	988	989	990
991	992	993	994	995	996
997	998	999	1000	1001	1002

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(5) 健康

沖縄地方では、地球温暖化により年間平均気温が上昇し、熱中症リスクの増加が懸念されています。本県は観光客が多く、県民のみならず来訪者に対しても熱中症対策を進めることが重要です。そのため、公共施設や学校教育現場など各施設における適正環境の提供に取り組みます。また、気温上昇により熱帯的な気候に変化することにより、熱帯地域特有の感染症を媒介する蚊の定着が高まる可能性があることから、蚊を採集・分類同定し発生状況調査などに取り組み、県民の健康を守るための適応策を展開します。

項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
暑熱	死亡リスク等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【現在の影響】 ・消防庁の調査によると、2021年以降、県内における熱中症による死亡者は毎年、複数名発生している。 【将来の影響】 ・熱ストレス超過死亡数は、年齢層に関わらず、全ての県で2倍以上になると予測されている。 ・気温上昇により心血管疾患による死亡者数が増加すること、2030年、2050年に高齢による高齢者の死亡者数が増加することが予測されている。	・各場面における気象情報及び暑さ指数(WBGT)の提供や注意喚起、予防・対処法の普及啓発、発生状況等に係る情報提供に取り組む。
	熱中症等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【現在の影響】 ・県内における熱中症による救急搬送人員、熱中症死亡者数の増加傾向が確認されている。 【将来の影響】 ・従来の感覚での暑さ対策では不十分で、長期間にわたって健康を損ねたり、死亡事故につながる事例がある。 ・県内では、真夏日や酷暑夜の年間日数は長期的に増加していることから、観光客に対して熱中症対策について情報発信する必要がある。	・啓発チラシの作成、県内広報誌への掲載、webサイト上での暑さ指数の公表等により、熱中症対策に係る情報を県民に周知する。 ・熱中症対策に係る情報を県民・観光客に周知する。 ・消防庁の「夏期における熱中症による救急搬送状況」のデータを活用し、県内の熱中症による救急搬送人員の公表に取り組む。 ・労働者の熱中症を防止するため、国の「職場における熱中症予防基本対策要綱」に基づく暑さ指数の把握とその値に応じた熱中症予防対策の適切な実施に取り組む。 ・県立学校の空調設備の整備に取り組む。 ・防暑施設等の整備による漁業就業環境の改善を行う。 ・県庁各部局の役割を明確にし、庁内体制を整備することで、熱中症特別警戒情報の発表に備える。 ・庁内、庁外の関係機関における熱中症に関する取組や気象情報を共有し、熱中症予防対策の効果的な実施を目的に、熱中症予防対策連絡会議を開催する。 ・感染症に関する患者情報の収集・分析・公表及び病原体の検査等に取り組むとともに、平時から検疫所等との緊密な情報交換を行う。

(5) 健康

沖縄地方では、地球温暖化により年間平均気温が上昇し、熱中症リスクの増加が懸念されていることから、公共施設や学校教育現場など各施設における適正環境の提供に取り組みます。また、気温上昇により熱帯的な気候に変化することにより、熱帯地域特有の感染症を媒介する蚊の定着が高まる可能性があることから、蚊を採集・分類同定し発生状況調査などに取り組み、県民の健康を守るための適応策を展開します。

項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
暑熱	死亡リスク等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・熱ストレス超過死亡数は、年齢層に関わらず、全ての県で2倍以上になると予測されています。	・各場面における気象情報及び暑さ指数(WBGT)の提供や注意喚起、予防・対処法の普及啓発、発生状況等に係る情報提供に取り組む。
	熱中症等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・従来の感覚での暑さ対策では不十分で、長期間にわたって健康を損ねたり、死亡事故につながる危険性が高くなっています。	・啓発チラシの作成、県内広報誌への掲載、webサイト上での暑さ指数の公表等により、熱中症対策に係る情報を県民に周知します。 ・県内23の定点病院における熱中症診断患者の数を集計し、公表に取り組む。
感染症	熱帯性感染症	重大性：● 緊急性：● 確信度：▲	○	・気候変動の影響により熱帯性の感染症が沖縄県でも定着、拡散する可能性があります。 ・インフルエンザや手足口病などの感染症類の発症リスク・流行パターンの変化が新たに報告されています。	・蚊媒介感染症が発生するリスクを評価するため、選定されたモニタリング定点で蚊を採集・分類同定し発生状況調査に取り組む。 ・感染症に関する患者情報の収集・分析・公表及び病原体の検査等に取り組む。
	脆弱性が高いと思われる高齢者等への影響	重大性：● 緊急性：● 確信度：▲		・暑熱による高齢者の熱中症等のリスクの増加が懸念されています。	・気候変動がもたらす健康への影響に関する知見が不足していることから、科学的知見の集積を図っていきます。 ・市街地におけるミスト噴霧や給水ポイント設置など暑熱対策に取り組む。

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	
29	30	31	32	33	
34	35	36	37	38	
39	40	41	42	43	
44	45	46	47	48	
49	50	51	52	53	
54	55	56	57	58	
59	60	61	62	63	
64	65	66	67	68	
69	70	71	72	73	
74	75	76	77	78	
79	80	81	82	83	
84	85	86	87	88	
89	90	91	92	93	
94	95	96	97	98	
99	100	101	102	103	
104	105	106	107	108	
109	110	111	112	113	
114	115	116	117	118	
119	120	121	122	123	
124	125	126	127	128	
129	130	131	132	133	
134	135	136	137	138	
139	140	141	142	143	
144	145	146	147	148	
149	150	151	152	153	
154	155	156	157	158	
159	160	161	162	163	
164	165	166	167	168	
169	170	171	172	173	
174	175	176	177	178	
179	180	181	182	183	
184	185	186	187	188	
189	190	191	192	193	
194	195	196	197	198	
199	200	201	202	203	
204	205	206	207	208	
209	210	211	212	213	
214	215	216	217	218	
219	220	221	222	223	
224	225	226	227	228	
229	230	231	232	233	
234	235	236	237	238	
239	240	241	242	243	
244	245	246	247	248	
249	250	251	252	253	
254	255	256	257	258	
259	260	261	262	263	
264	265	266	267	268	
269	270	271	272	273	
274	275	276	277	278	
279	280	281	282	283	
284	285	286	287	288	
289	290	291	292	293	
294	295	296	297	298	
299	300	301	302	303	
304	305	306	307	308	
309	310	311	312	313	
314	315	316	317	318	
319	320	321	322	323	
324	325	326	327	328	
329	330	331	332	333	
334	335	336	337	338	
339	340	341	342	343	
344	345	346	347	348	
349	350	351	352	353	
354	355	356	357	358	
359	360	361	362	363	
364	365	366	367	368	
369	370	371	372	373	
374	375	376	377	378	
379	380	381	382	383	
384	385	386	387	388	
389	390	391	392	393	
394	395	396	397	398	
399	400	401	402	403	
404	405	406	407	408	
409	410	411	412	413	
414	415	416	417	418	
419	420	421	422	423	
424	425	426	427	428	
429	430	431	432	433	
434	435	436	437	438	
439	440	441	442	443	
444	445	446	447	448	
449	450	451	452	453	
454	455	456	457	458	
459	460	461	462	463	
464	465	466	467	468	
469	470	471	472	473	
474	475	476	477	478	
479	480	481	482	483	
484	485	486	487	488	
489	490	491	492	493	
494	495	496	497	498	
499	500	501	502	503	
504	505	506	507	508	
509	510	511	512	513	
514	515	516	517	518	
519	520	521	522	523	
524	525	526	527	528	
529	530	531	532	533	
534	535	536	537	538	
539	540	541	542	543	
544	545	546	547	548	
549	550	551	552	553	
554	555	556	557	558	
559	560	561	562	563	
564	565	566	567	568	
569	570	571	572	573	
574	575	576	577	578	
579	580	581	582	583	
584	585	586	587	588	
589	590	591	592	593	
594	595	596	597	598	
599	600	601	602	603	
604	605	606	607	608	
609	610	611	612	613	
614	615	616	617	618	
619	620	621	622	623	
624	625	626	627	628	
629	630	631	632	633	
634	635	636	637	638	
639	640	641	642	643	
644	645	646	647	648	
649	650	651	652	653	
654	655	656	657	658	
659	660	661	662	663	
664	665	666	667	668	
669	670	671	672	673	
674	675	676	677	678	
679	680	681	682	683	
684	685	686	687	688	
689	690	691	692	693	
694	695	696	697	698	
699	700	701	702	703	
704	705	706	707	708	
709	710	711	712	713	
714	715	716	717	718	
719	720	721	722	723	
724	725	726	727	728	
729	730	731	732	733	
734	735	736	737	738	
739	740	741	742	743	
744	745	746	747	748	
749	750	751	752	753	
754	755	756	757	758	
759	760	761	762	763	
764	765	766	767	768	
769	770	771	772	773	
774	775	776	777	778	
779	780	781	782	783	
784	785	786	787	788	
789	790	791	792	793	
794	795	796	797	798	
799	800	801	802	803	
804	805	806	807	808	
809	810	811	812	813	
814	815	816	817	818	
819	820	821	822	823	
824	825	826	827	828	
829	830	831	832	833	
834	835	836	837	838	
839	840	841	842	843	
844	845	846	847	848	
849	850	851	852	853	
854	855	856	857	858	
859	860	861	862	863	
864	865	866	867	868	
869	870	871	872	873	
874	875	876	877	878	
879	880	881	882	883	
884	885	886	887	888	
889	890	891	892	893	
894	895	896	897	898	
899	900	901	902	903	
904	905	906	907	908	
909	910	911	912	913	
914	915	916	917	918	
919	920	921	922	923	
924	925	926	927	928	
929	930	931	932	933	
934	935	936	937	938	
939	940	941	942	943	
944	945	946	947	948	
949	950	951	952	953	
954	955	956	957	958	
959	960	961	962	963	
964	965	966	967	968	
969	970	971	972	973	
974	975	976	977	978	
979	980	981	982	983	
984	985	986	987	988	
989	990	991	992	993	
994	995	996	997	998	
999	1000	1001	1002	1003	

※ 青文字：県で取組は実施していないが、国の影響評価及び国庫計画を基に重要と思われる細目について参考に記載
 ※ ○：本県において施策が実施されている細目
 ※ ◎：本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる細目
 ※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更等した内容

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(6) 産業・経済活動

本県の観光産業は恵まれた自然と独自の文化を活かして大きく発展してきましたが、気候変動の影響に伴う海面上昇による砂浜の減少など、海洋スポーツや自然観光への影響等が懸念されています。また、気温の上昇による空調機の冷房負荷の上昇や、建設工事におけるコンクリートの質の維持等の建設関係への影響も懸念されていることから、観光業、建設業の影響に関する科学的知見の集積を図るなど、本県の産業・経済活動を守るための適応策を展開します。

項目	細目	国による影響評価 (運用計画 ⑤)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
観光業	観光業	重大性：● 緊急性：▲ 確信度：●		【将来の影響】 ・海面上昇により砂浜が減少することで、海洋スポーツや自然観光に影響を与えると予測されている。 ・道路沿線におけるサンゴ礁の分布域の減少や消失等の自然生態系の変化が予測されており、ダイビング等のアウトドアレジャーにも影響を及ぼす可能性が有る。	・海洋スポーツや自然観光等の観光業における気候変動の影響に関する科学的知見の集積を図っていく。 ・外国人を含む旅行者が安心して旅行できるよう、SNS や Web 上での災害情報の多言語発信、観光・宿泊施設が災害時の対応マニュアルを作成する際のガイドラインの策定など、情報提供体制の強化を図る。
	建設・建築工事	重大性：● 緊急性：● 確信度：●		【将来の影響】 ・風荷重、空調負荷等に関する設計条件・基準等の見直しの影響が懸念されている。 ・コンクリートの質を維持するための最中コンクリート工事の適用期間が長期化している。	・建設業分野においては、現時点で気候変動が及ぼす影響についての研究事例が少ないため、科学的知見の集積を図っていく。

※ 青文字：県で取組は実施していないが、国の影響評価及び適応計画を基に重要と思われる細目について参考記載

※ ○：本県において施設が実施されている細目

※ ◎：本県において施設が実施されており、特に重要と考えられる細目

※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更等した内容

(6) 産業・経済活動

本県の観光産業は恵まれた自然と独自の文化を活かして大きく発展してきましたが、気候変動の影響に伴う海面上昇による砂浜の減少など、海洋スポーツや自然観光への影響等が懸念されています。また、気温の上昇による空調機の冷房負荷の上昇や、建設工事におけるコンクリートの質の維持等の建設関係への影響も懸念されていることから、観光業、建設業の影響に関する科学的知見の集積を図るなど、本県の産業・経済活動を守るための適応策を展開します。

項目	細目	国による影響評価 (2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
観光業	海洋観光	重大性：● 緊急性：▲ 確信度：●		・海面上昇により砂浜が減少することで、海洋スポーツや自然観光に影響を与えると予測されています。	・海洋スポーツや自然観光等の観光業における気候変動の影響に関する科学的知見の集積を図っていきます。 ・外国人を含む旅行者が安心して旅行できるよう、SNS や Web 上での災害情報の多言語発信、観光・宿泊施設が災害時の対応マニュアルを作成する際のガイドライン策定など、情報提供体制の強化を図ります。
	建築・建設工事	重大性：● 緊急性：● 確信度：●		・風荷重、空調負荷等に関する設計条件・基準等の見直しの影響が懸念されています。 ・コンクリートの質を維持するための最中コンクリート工事の適用期間が長期化しています。	・建設業分野においては、現時点で気候変動が及ぼす影響についての研究事例が少ないため、科学的知見の集積を図っていきます。

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(7) 国民生活・都市生活

県民生活や観光を含めた産業振興において、インフラ・ライフラインは大変重要な役割を担っています。気候変動による短時間強雨や強い台風の増加等によるインフラ・ライフラインへの影響を軽減するため、土砂崩れに対する対策や河川の氾濫対策等に取り組むとともに、気候変動による生物季節の変動への影響調査や気温上昇に対する暑熱対策の取組など、本県の国民生活・都市生活を守るための適応策を展開します。

項目	細目	国による影響評価(適応計画R5)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
都市インフラ・ライフライン	水道・交通等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	【現在の影響】 ・高波による道路の交通障害等が報告されている。 【将来の影響】 ・気候変動による短時間強雨や洪水の頻度の増加、強い台風の増加等が生じれば、インフラ・ライフラインに対する影響の増大が懸念されている。 ・水道インフラに関して、河川の激減や土砂の増加により、水質管理に影響する。 ・市町村が設置する一般廃棄物処理施設に対して、災害対策の指導・助言に取り組む。 ・大規模地震等の災害時に発生する廃棄物の円滑な処理体制を整備するため、「沖縄県災害廃棄物処理計画」を策定しており、災害に備える。 ・台風等の自然災害時における自立的な電源確保(再生可能エネルギーの利用等)の導入を促進する。 ・災害時において港湾の物流機能を維持し、背後産業への影響を最小化するため、施設について所乗の機能の維持を図るとともに、企業等に対するリスク情報の提供や港湾の事業継続計画(港務BCP)の策定等に取り組む。 ・沿岸部の空港について、人命保護の観点から、高潮等に関する被害想定図を作成するとともに、空港関係者への周知等を行う。 ・緊急輸送道路として、安全性、信頼性の高い道路網の整備、無電柱化等を推進する。	・大雨による斜面崩落を防止するための斜面崩壊・落石対策に取り組む。 ・高潮等による護岸の崩壊を防止するための護岸の保全等に取り組む。 ・洪水による浸水被害が生じている箇所について、河川改修を実施し、洪水被害の軽減に取り組む。 ・市町村が設置する一般廃棄物処理施設に対して、災害対策の指導・助言に取り組む。 ・大規模地震等の災害時に発生する廃棄物の円滑な処理体制を整備するため、「沖縄県災害廃棄物処理計画」を策定しており、災害に備える。 ・台風等の自然災害時における自立的な電源確保(再生可能エネルギーの利用等)の導入を促進する。 ・災害時において港湾の物流機能を維持し、背後産業への影響を最小化するため、施設について所乗の機能の維持を図るとともに、企業等に対するリスク情報の提供や港湾の事業継続計画(港務BCP)の策定等に取り組む。 ・沿岸部の空港について、人命保護の観点から、高潮等に関する被害想定図を作成するとともに、空港関係者への周知等を行う。 ・緊急輸送道路として、安全性、信頼性の高い道路網の整備、無電柱化等を推進する。
				【将来の影響】 ・国民にとって身近なサクラ、セミ等の動植物の生物季節の変化が懸念されている。 ・サクラの開花及び満開期について、将来の観花は西南日本では遅くなる傾向にあり、気温の上昇により開花から満開までに必要な日数は短くなる可能性が高い。そのため花見ができる日数の減少、サクラを観光資源とする地域への影響が予測されている。	・生物季節の変動について情報収集に努めるとともに、気候変動による自然生態系全体への影響調査の実施について検討する。

(7) 国民生活・都市生活

県民生活や観光を含めた産業振興において、インフラ・ライフラインは大変重要な役割を担っています。気候変動による短時間強雨や強い台風の増加等によるインフラ・ライフラインへの影響を軽減するため、土砂崩れに対する対策や河川の氾濫対策等に取り組むとともに、気候変動による生物季節の変動への影響調査や気温上昇に対する暑熱対策の取組など、本県の国民生活・都市生活を守るための適応策を展開します。

項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要度	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
都市インフラ・ライフライン	水道・交通等	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・気候変動による短時間強雨や洪水の頻度の増加、強い台風の増加等が進めば、インフラ・ライフラインに対する影響の増大が懸念されています。 ※洪水対策についてはp101に記載しています。	・大雨による斜面崩落を防止するための斜面崩壊・落石対策に取り組めます。 ・高潮等による護岸の崩壊を防止するための護岸の保全等に取り組めます。 ・浸水被害が生じている箇所について、河川改修を行い、浸水被害軽減に取り組めます。 ・市町村が設置する一般廃棄物処理施設に対して、災害対策の指導・助言に取り組めます。 ・大規模地震等の災害時に発生する廃棄物の円滑な処理体制を整備するため、「沖縄県災害廃棄物処理計画」を策定しており、災害に備えます。 ・台風等の自然災害時における自立的な電源確保(再生可能エネルギーの利用等)の導入を促進します。
				・国民にとって身近なサクラ、セミ等の動植物の生物季節の変化が懸念されています。	・生物季節の変動について情報収集に努めるとともに、気候変動による自然生態系全体への影響調査の実施について検討します。
				・気候変動による、生物多様性の減少が懸念されています。 ・将来的に気温上昇による熱中症対策の増加等の可能性があります。	・流域の良好な水循環の確保、ヒートアイランド現象の緩和等、良好な生活環境の整備に取り組んでいけるよう関係機関で連絡調整に取り組めます。 ・環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場として都市公園の整備に取り組めます。
文化・歴史などを感じる暮らし	生物季節	重大性：● 緊急性：● 確信度：●	◎	・国民にとって身近なサクラ、セミ等の動植物の生物季節の変化が懸念されています。	・建築物の省エネ法等が改正された事に伴い、手引書の改訂が必要となってきます。
				・暑熱による生活への影響等	・過去5年間(2015～2021年)の職場における熱中症死亡者数、死傷者数はともに建設業において最大となっています。 ・行政、団体、企業等による緑化活動を推進します。(全島みどり花いっぱい運動事業)

新 旧 対 照 表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)					(旧) 現行計画
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66
67	68	69	70	71	72
73	74	75	76	77	78
79	80	81	82	83	84
85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96
97	98	99	100	101	102
103	104	105	106	107	108
109	110	111	112	113	114
115	116	117	118	119	120
121	122	123	124	125	126
127	128	129	130	131	132
133	134	135	136	137	138
139	140	141	142	143	144
145	146	147	148	149	150
151	152	153	154	155	156
157	158	159	160	161	162
163	164	165	166	167	168
169	170	171	172	173	174
175	176	177	178	179	180
181	182	183	184	185	186
187	188	189	190	191	192
193	194	195	196	197	198
199	200	201	202	203	204
205	206	207	208	209	210
211	212	213	214	215	216
217	218	219	220	221	222
223	224	225	226	227	228
229	230	231	232	233	234
235	236	237	238	239	240
241	242	243	244	245	246
247	248	249	250	251	252
253	254	255	256	257	258
259	260	261	262	263	264
265	266	267	268	269	270
271	272	273	274	275	276
277	278	279	280	281	282
283	284	285	286	287	288
289	290	291	292	293	294
295	296	297	298	299	300
301	302	303	304	305	306
307	308	309	310	311	312
313	314	315	316	317	318
319	320	321	322	323	324
325	326	327	328	329	330
331	332	333	334	335	336
337	338	339	340	341	342
343	344	345	346	347	348
349	350	351	352	353	354
355	356	357	358	359	360
361	362	363	364	365	366
367	368	369	370	371	372
373	374	375	376	377	378
379	380	381	382	383	384
385	386	387	388	389	390
391	392	393	394	395	396
397	398	399	400	401	402
403	404	405	406	407	408
409	410	411	412	413	414
415	416	417	418	419	420
421	422	423	424	425	426
427	428	429	430	431	432
433	434	435	436	437	438
439	440	441	442	443	444
445	446	447	448	449	450
451	452	453	454	455	456
457	458	459	460	461	462
463	464	465	466	467	468
469	470	471	472	473	474
475	476	477	478	479	480
481	482	483	484	485	486
487	488	489	490	491	492
493	494	495	496	497	498
499	500	501	502	503	504
505	506	507	508	509	510
511	512	513	514	515	516
517	518	519	520	521	522
523	524	525	526	527	528
529	530	531	532	533	534
535	536	537	538	539	540
541	542	543	544	545	546
547	548	549	550	551	552
553	554	555	556	557	558
559	560	561	562	563	564
565	566	567	568	569	570
571	572	573	574	575	576
577	578	579	580	581	582
583	584	585	586	587	588
589	590	591	592	593	594
595	596	597	598	599	600
601	602	603	604	605	606
607	608	609	610	611	612
613	614	615	616	617	618
619	620	621	622	623	624
625	626	627	628	629	630
631	632	633	634	635	636
637	638	639	640	641	642
643	644	645	646	647	648
649	650	651	652	653	654
655	656	657	658	659	660
661	662	663	664	665	666
667	668	669	670	671	672
673	674	675	676	677	678
679	680	681	682	683	684
685	686	687	688	689	690
691	692	693	694	695	696
697	698	699	700	701	702
703	704	705	706	707	708
709	710	711	712	713	714
715	716	717	718	719	720
721	722	723	724	725	726
727	728	729	730	731	732
733	734	735	736	737	738
739	740	741	742	743	744
745	746	747	748	749	750
751	752	753	754	755	756
757	758	759	760	761	762
763	764	765	766	767	768
769	770	771	772	773	774
775	776	777	778	779	780
781	782	783	784	785	786
787	788	789	790	791	792
793	794	795	796	797	798
799	800	801	802	803	804
805	806	807	808	809	810
811	812	813	814	815	816
817	818	819	820	821	822
823	824	825	826	827	828
829	830	831	832	833	834
835	836	837	838	839	840
841	842	843	844	845	846
847	848	849	850	851	852
853	854	855	856	857	858
859	860	861	862	863	864
865	866	867	868	869	870
871	872	873	874	875	876
877	878	879	880	881	882
883	884	885	886	887	888
889	890	891	892	893	894
895	896	897	898	899	900
901	902	903	904	905	906
907	908	909	910	911	912
913	914	915	916	917	918
919	920	921	922	923	924
925	926	927	928	929	930
931	932	933	934	935	936
937	938	939	940	941	942
943	944	945	946	947	948
949	950	951	952	953	954
955	956	957	958	959	960
961	962	963	964	965	966
967	968	969	970	971	972
973	974	975	976	977	978
979	980	981	982	983	984
985	986	987	988	989	990
991	992	993	994	995	996
997	998	999	1000	1001	1002
1003	1004	1005	1006	1007	1008
1009	1010	1011	1012	1013	1014
1015	1016	1017	1018	1019	1020
1021	1022	1023	1024	1025	1026
1027	1028	1029	1030	1031	1032
1033	1034	1035	1036	1037	1038
1039	1040	1041	1042	1043	1044
1045	1046	1047	1048	1049	1050
1051	1052	1053	1054	1055	1056
1057	1058	1059	1060	1061	1062
1063	1064	1065	1066	1067	1068
1069	1070	1071	1072	1073	1074
1075	1076	1077	1078	1079	1080
1081	1082	1083	1084	1085	1086
1087	1088	1089	1090	1091	1092
1093	1094	1095	1096	1097	1098
1099	1100	1101	1102	1103	1104
1105	1106	1107	1108	1109	1110
1111	1112	1113	1114	1115	1116
1117	1118	1119	1120	1121	1122
1123	1124	1125	1126	1127	1128
1129	1130	1131	1132	1133	1134
1135	1136	1137	1138	1139	1140
1141	1142	1143	1144	1145	1146
1147	1148	1149	1150	1151	1152
1153	1154	1155	1156	1157	1158
1159	1160	1161	1162	1163	1164
1165	1166	1167	1168	1169	1170
1171	1172	1173	1174	1175	1176
1177	1178	1179	1180	1181	1182
1183	1184	1185	1186	1187	1188
1189	1190	1191	1192	1193	1194
1195	1196	1197	1198	1199	1200
1201	1202	1203	1204	1205	1206
1207	1208	1209	1210	1211	1212
1213	1214	1215	1216	1217	1218
1219	1220	1221	1222	1223	1224
1225	1226	1227	1228	1229	1230
1231	1232	1233	1234	1235	1236
1237	1238	1239	1240	1241	1242
1243	1244	1245	1246	1247	1248
1249	1250	1251	1252	1253	1254
1255	1256	1257	1258	1259	1260
1261	1262	1263	1264	1265	1266
1267	1268	1269	1270	1271	1272
1273	1274	1275	1276	1277	1278
1279	1280	1281	1282	1283	1284
1285	1286	1287	1288	1289	1290
1291	1292	1293	1294	1295	1296
1297	1298	1299	1300	1301	1302
1303	1304	1305	1306	1307	1308
1309	1310	1311	1312	1313	1314
1315	1316	1317	1318	1319	1320
1321	1322	1323	1324	1325	1326
1327	1328	1329	1330	1331	1332
1333	1334	1335	1336	1337	1338
1339	1340	1341	1342	1343	1344
1345	1346	1347	1348	1349	1350
1351	1352	1353	1354	1355	1356
1357	1358	1359	1360	1361	1362
1363	1364	1365	1366	1367	1368
1369	1370	1371	1372	1373	1374
1375	1376	1377	1378	1379	1380
13					

新旧対照表

(新) 改定版・素案 (パブリックコメント用)

(旧) 現行計画

(8) 基盤的施策

(1)～(7)までの項目について、適応策を示してきましたが、これらの気候変動適応の基盤として、本計画の各分野の施策を推進するとともに、環境影響評価制度の推進にあたっては気候変動の影響を考慮した環境影響評価の手法について検討を行い、本計画の基盤的施策として展開します。

項目	細目	国による影響評価(適応計画5)	県の重要性	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
基盤的施策	地方公共団体の気候変動適応に関する施策の促進	重大性：－ 緊急性：－ 確信度：－	○	【将来の影響】 ・気候変動により、①農業・林業・水産業 ②水環境・水資源 ③自然生態系 ④自然災害 ⑤健康などの各分野に将来的に様々な影響を及ぼす可能性がある。	・沖縄県気候変動適応計画を策定し、適応策の重要性を示すとともに、①農業・林業・水産業②水環境・水資源③自然生態系④自然災害⑤健康の各分野の適応策推進に取り組むとともに、沖縄県気候変動適応センターにおいて気候変動影響や適応策について関係等から情報収集し、県民へ情報提供を行う。
	環境影響評価制度の推進	重大性：－ 緊急性：－ 確信度：－	○	【将来の影響】 ・赤土等流出防止に係る予測等において、気候変動を考慮した調査、予測、評価及び環境保全措置の検討を行う必要性が高くなっている。	・気候変動を考慮した環境影響評価の推進に取り組む。

※ 青文字：県で取組は実施していないが、国の影響評価及び適応計画を基に重要と思われる細目について参考に記載

※ ○：本県において施策が実施されている細目

※ ◎：本県において施策が実施されており、特に重要と考えられる細目

※ 黄色網掛けは、現行計画から追加・変更等した内容

(8) 基盤的施策

(1)～(7)までの項目について、適応策を示してきましたが、これらの気候変動適応の基盤として、本計画の各分野の施策を推進するとともに、環境影響評価制度の推進にあたっては気候変動の影響を考慮した環境影響評価の手法について検討を行い、本計画の基盤的施策として展開します。

項目	細目	国による影響評価(2020年)	県の重要性	本県における現在の影響及び将来想定される影響	本県における適応策
基盤的施策	地方公共団体の気候変動適応に関する施策の促進	重大性：－ 緊急性：－ 確信度：－	○	・気候変動により、①農業・林業・水産業 ②水環境・水資源 ③自然生態系 ④自然災害 ⑤健康などの各分野に将来的に様々な影響を及ぼす可能性があります。	・沖縄県気候変動適応計画を策定し、適応策の重要性を示すとともに、①農業・林業・水産業②水環境・水資源③自然生態系④自然災害⑤健康の各分野の適応策推進に取り組めます。
	環境影響評価制度の推進	重大性：－ 緊急性：－ 確信度：－	○	・赤土等流出防止に係る予測等において、気候変動を考慮した調査、予測、評価及び環境保全措置の検討を行う必要性が高くなっています。	・気候変動を考慮した環境影響評価の手法について検討を行っています。